

# 女性のつながりサポート事業【春日井市】

総事業費	214 千円
交付金額	107 千円

## 地域の実情と課題

コロナ禍において、社会の絆やつながりが薄くなり、孤独や孤立で不安を抱える女性や、解雇等に直面する女性、経済的困窮などにより生理用品が購入できない「生理の貧困」など、様々な困難や課題を抱える女性が増加している。令和2年に実施した市民意識調査では、女性の24.2%が新型コロナウイルス感染症の影響による働き方の変化があったと答えており、休業や失業により、およそ13人に1人の女性が、経済的に厳しい状況に陥っていると推察される。年代別に見ると、30代から50代のいわゆる子育て世代の休業が多い状況である。様々な困難や課題を抱える女性を適切な相談窓口につなげることが喫緊の課題となっている。

## 事業の特徴

不安を抱える女性を支援するため、女性の居場所づくりとして月に1回「親子ひろば」を開催する。ボランティアによる悩みの聞き取りを実施し、必要に応じて支援機関につなげる。

- ・民間の子育て支援施設に親子ひろばの指導を依頼し、その知見を活かした運営を行い、またボランティアの育成を実施。
- ・悩みを抱える女性が立ち寄りそうな公共施設にチラシを設置し利用を促した。また利用者から相談があったときには、必要に応じて市の相談窓口を紹介。

## 事業の効果

これまで育成してきたボランティアを活用し、月1回のペースで親子ひろばを開催することができた。悩みを抱える子育て中の女性の居場所をつくることで、不安や悩みを話す機会の創出、孤立の解消、行政サービスや支援策とのつながりの形成により悩みごとに寄り添うことができた。

## 目的・目標

他機関と連携し、不安を抱える女性を必要な支援機関に繋げる機能を充実することにより、課題の解決につなげる。

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	相談窓口につなげた参加者人数	10人 (アウトプット)	
事業KPI	育成したボランティアの人数	7人 (アウトプット)	7人

## 連携団体

民間の子育て支援施設

## 今後の課題

- ・親子ひろばを安定的に開催するため、現在活動しているボランティアが継続して活動できるよう、支援していく必要がある。
- ・現在は民間の子育て支援施設に監修を依頼しているが、いずれはボランティアだけで開催できるように体制を整えていくことが必要である。

## 事業の概要

### ○女性のつながりサポート事業

不安を抱える女性を支援するため、女性の居場所づくりとして月に1回「親子ひろば」を開催する。ボランティアによる悩みの聞き取りを実施し、必要に応じて支援機関につなげる。

【行事名】レディヤンかすがい親子ひろば

【日時】毎月第3木曜日（8月と3月を除く） 午前10時から午前11時まで

【参加人数】延べ252組

【内容】女性の居場所づくりのため、親子で参加できるイベントを開催。絵本の読み聞かせ、パネルシアター、体操、手遊びなどを実施。その前後に自由に遊べる時間を設け、ボランティアによる悩みや困りごとの聞き取りを行い、必要に応じて相談窓口へつなぐ。

【行事内容】4月「こいのぼり(はじめましての会)」、5月「遠足ごっこ」、6月「七夕」、7月「雨でも楽しめる夏にしよう」、9月「縁日ごっこ」、10月「ハロウィン」、11月「のりもの」、12月「クリスマス」、1月「豆まき」、2月「ひなまつり」



### 結果・実績

	目標・KPI	目標	実績
事業 目標	相談窓口につなげた 参加者人数	10人 (アウトプット)	
事業 KPI	育成したボランティ アの数	7人 (アウトプット)	7人